



# 蒜山図書館だより 2019

ひるぜんさんざ ぶもと しぜん きょうぞん としょかん  
《 蒜山三座の麓 自然と共存する図書館 》 令和第5号



やっと、空も遠くなり秋の気配を深く感じる頃になりました。

最大級の突風・降水量・短時間大雨など、想定外の自然災害が発生し、自然の驚異に対してどうすることもできない人間の力のなさを痛感しています。ただ、その災害にも負けず、自然と共存して粘り強く生きてきた先人達、現在もなおその被害に苦しむ人達の心に寄り添い、想定外の事態に対しても、前を向いていけるような「生きる力」が「助けあう力」が必要な時代です。「自分ならどうする」とシュミレーションしておくことも大切なことです。何事もなく過ごせる平和で平凡な毎日に感謝ですね。



## 2019(第73回)読書週間

(10月27日~11月9日)始まる

標語 「おかえり、<sup>しおり</sup>葉の場所でまってるよ」

(次ページで読書週間の歴史 シンボルマークについて  
ポスター・標語の作者紹介しています。)

## 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			職場体験	職場体験	職場体験	
6	7	8	9	10	11	12
	休館				蒜山①	語り
13	14	15	16	17	18	19
	体育の日 休館		川上小		蒜山②	
20	21	22	23	24	25	26
	休館					語り
27	28	29	30			
	休館					

蒜山 語りの会

「おきなぐさ」の昔話の語り

第2・4土曜日 11:00~です

10月12日(土)

10月26日(土)

蒜山①：川上地区 蒜山②：中和地区・八束

\*10月3日~5日まで蒜山中学校2年生3名が図書館で職場体験学習をします。よろしくお願いします。

## 蒜山図書館

開館時間 9:00~18:00 (休館は月曜日・年末年始)  
〒717-0504 真庭市蒜山下福田305 (蒜山振興局内)  
TEL 0867-66-7880 FAX: 0867-66-7881





## 読書週間の歴史

森の奥深く、静かに瞑想にふける「ふくろう」の姿こそ、読書週間にもっともふさわしいものと考えシンボルマークとして使用しています。



終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られました。いまの10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）になったのは、第2回からです。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらおうきっかけとなりますように。

「読書週間」中、ぜひ1冊でも本を読んでみませんか？あなたの人生を変えるような本に出会えるかもしれませんよ！



2019年・第73回『読書週間』ポスター

行方作者 富山涼太さん（作者のことば）

常になにかに追われる毎日、疲れちゃいますね。その中でいつも待っていてくれるのが本です。開いてあげれば、笑わせにきたり、泣かせにきたり、さまざまな感情に連れていってくれます。そんな本のことが、私は好きです。

標語作者 水口真優子さん（作者のことば）

日々の時間と環境は、時には私を置いて行ってしまおうほど早く過ぎ去ってしまうときもあるけれど、ほっと開いた本の世界は、私の帰りを待ってから進んでくれる…一人暮らしをはじめ、昔以上に本が好きになりました。



返却ポストが移動できるようになりました。閉館時の図書の返却にご不便をおかけしておりましたが、閉館時は玄関外の返却用ポストをご利用ください。開館時は今までのように、館内に移動させています。なお、DVDなどの壊れやすいものはなるべくカウンターへの返却をお願いします。

10月25日（金）～28日（月）  
乳幼児健診のため、学習室の使用はできません。  
ご迷惑をおかけします。



～10月の季節の言葉～  
紅葉（もみじ）前線・秋祭り・冬支度